KENWOOD

ネットワークアンプ

A-K905NT

取扱説明書 保証書付

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく
お使いください。
特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全に
お使いください。
そのあと本書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

• 目次は3 ページにあります。

株式会社 JVCケンウッド
JVCKENWOOD Corporation

Made for iPod iPhone

AAC/MP3/WMA
FLAC/WAV

dlna CERTIFIED

K2 TECHNOLOGY

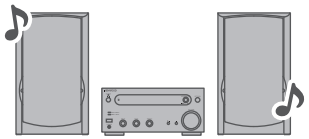
LVT2493-001AW

はじめに

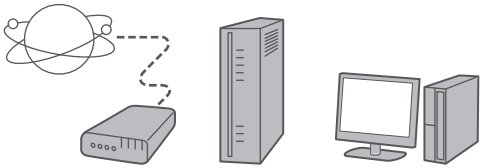
各機器の音声を楽しむには

まず、音声を聞く前に準備する

スピーカーと接続しましょう (p. 8)



通信ネットワークを構築して音楽やラジオを聞きたい方は、ネットワークに接続しましょう(p. 23)

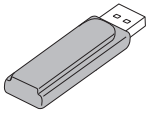


- ネットワーク上の機器(パソコンなど)に入っている音楽ファイルやインターネットラジオを本機から聞くことができます。

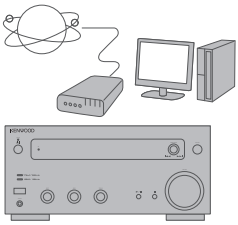
各機器の音声を聞く

iPod/iPhone(p. 14)

USB メモリー(p. 18)

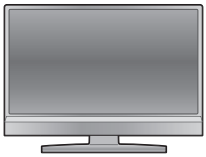


ネットワーク機器(p. 23)



デジタルオーディオ
プレーヤー (p. 40)

テレビ(p. 40)



もくじ

はじめに 2
各機器の音声を楽しむには 2
本機を設置するときは 5
準備する 6
付属品を確認する 6
リモコンを準備する 6
接続する 8
スピーカーを接続する 8
他の機器(市販品)を接続する 9
各部のなまえ 10
本体前面 10
表示部 11
リモコン 12
ふだんの使いかた 13
電源を入れる / 切る 13
音源を選んで聞く 13
一時的に消音する 13
iPod/ iPhone を聞く 14
iPod/ iPhone を接続する 14
再生する 15
iPod/ iPhone のメニューを操作する 16
USB 機器を聞く 18
USB 機器を接続する 18
再生する 19
チャージモードで機器を充電する 22
ネットワーク機器を使う 23
ネットワーク機器を接続する 23
ネットワークサーバー内の音楽ファイルを再生する ... 24
リモート再生する 26
共有フォルダ内の曲を再生する 28
ファイルを操作する 32
radiko.jp を聞く 34
ネットワーク設定を変更する 36
文字を入力する 38
Wi-Fi Remote Control アプリを使う 39
外部機器を聞く 40
外部機器を接続する 40
再生する 41
音質を設定する 42
お好みの音質に設定する 42
重低音を強める(EX.BASS) 42
音質設定をリセットする 42
再生音質を高める(K2 機能) 43
スピーカーの左右の音量バランスを調整する 43
タイマーを使う 44
スリープタイマーを設定する 44
その他の設定 45
表示される情報を変える 45
表示の明るさを変える 45
オートパワーセーブ(節電機能)を使う 46
その他 48
再生できる iPod 48
USB 機器のご注意 48
オーディオファイルのご注意 49
ネットワーク(LAN)について 50
サーバーについて 50
DLNA 機器について 50
商標 51
故障かな?と思ったら 52
主な仕様 54
保証とアフターサービス 58
無料修理規定 59

オートパワーセーブ(節電機能)について

- **本機には、消音状態などが 15 分間続くと自動で電源が切れる「オートパワーセーブ」があり、お買い上げ時には有効になっています。(p. 46)**

本書の見かた

- 本書では、主にリモコンのボタンを使って説明しています。本体にも同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- この取扱説明書のディスプレイ表示は実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

本書の表記について

- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPod、iPod touch、iPhone を含みます。iPod touch、iPhone を指すときは、「iPod touch」、「iPhone」と表記します。
- 本書の説明で「Android 端末」と表記しているときは、Android OS を搭載したスマートフォンやタブレット端末などを含みます。
- 本書ではオーディオファイルの説明をする場合、「ファイル」と「曲」は同じ意味で使っています。

本機のボタンの押し方について

本機のボタンの押し方には、ボタンを短めに押す「単押し」と、長めに押す「長押し」があります。

単押し:(長押し)の記載なし

ボタンを軽く短めに「ポン」と押して、早めに指を離してください。強く押し過ぎたり、ゆっくり押すと本機が反応しない場合があります。そのような場合は、押す時間や力を調節して数回試してみてください。

長押し:(長押し)の記載あり

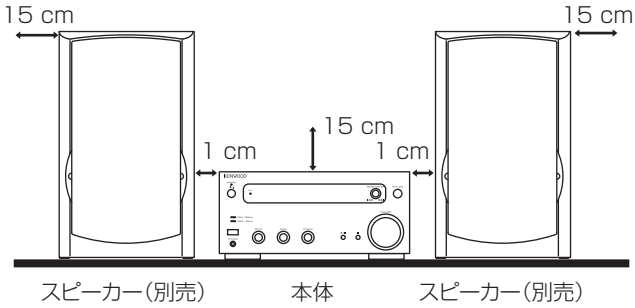
ボタンを長めに押し続けてから、指を離してください。

本機を設置するときは

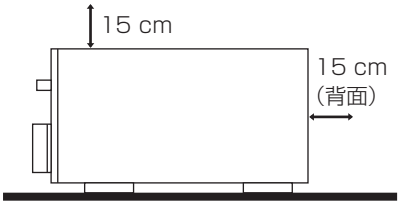
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 機器の各面から、図に示すスペースを空けてください。

正面



側面



ご注意

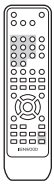
- 本機の使用環境温度は、5℃～35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

準備する

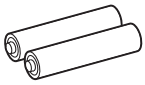
付属品を確認する

お使いになる前にお確かめください。

リモコン(1個)
RC-A0901



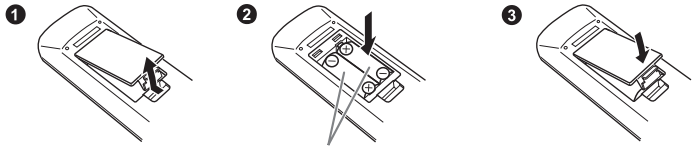
リモコン用乾電池(単4形:2本)



リモコンを準備する

電池を入れる

電池の＋と－の向きを正しく入れてください。

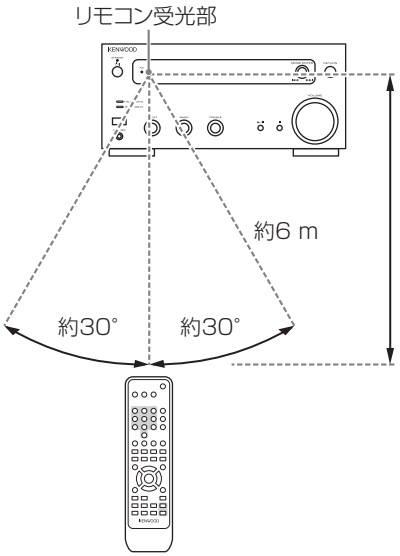


単4形乾電池(付属品)

ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、所在自治体の指示に従って廃棄してください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

操作のしかた



- 本体のリモコン受光部に、直射日光などの強い光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために、設置場所を変えてください。

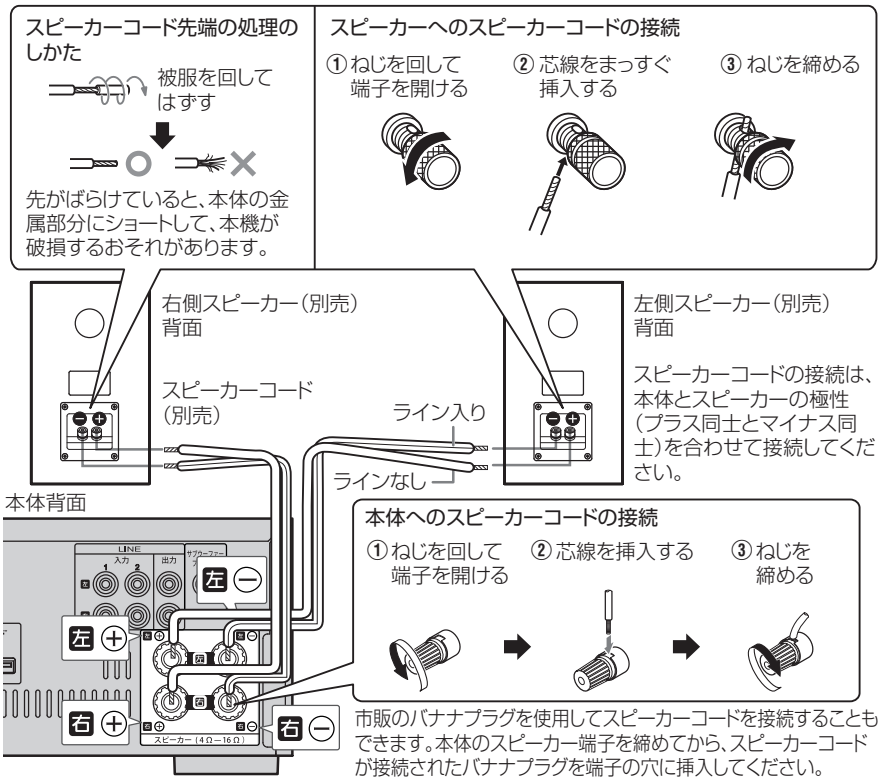
接続する

ご注意

- **すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。**
- 接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

スピーカーを接続する

- イラストは接続の一例です。イラスト以外のスピーカー端子やスピーカーコードでも接続できます。



お知らせ

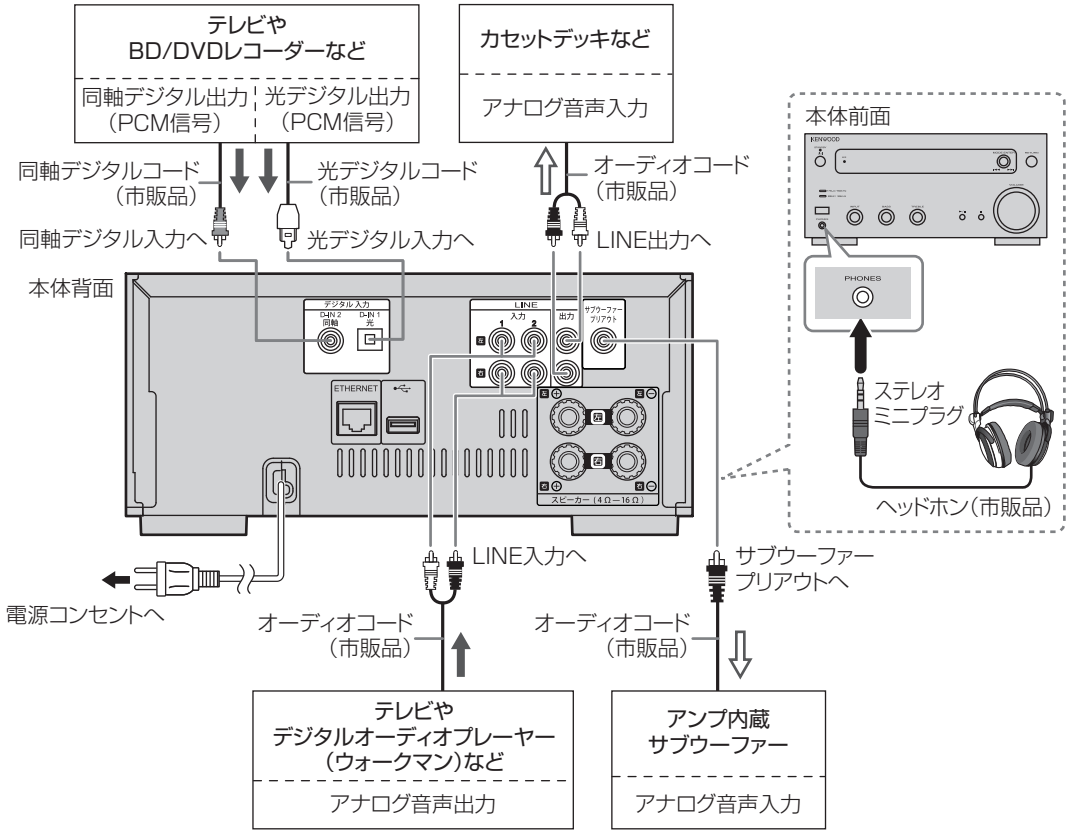
- 推奨品（LS-K901）以外の一般的なスピーカーも使用できます。スピーカーインピーダンスが 4 Ω から 16 Ω のスピーカーをお使いください。

スピーカーの接続についてのご注意

- 1つの端子に2つ以上のスピーカーを接続しないでください。
- スピーカーコードを強く押し込みすぎて、ビニールの被覆を端子の中に入れないようにしてください。
- スピーカーコードの接続を間違えると、故障の原因となりますので、図のとおり正しく接続してください。

他の機器(市販品)を接続する

接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。



お知らせ

- お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。
- デジタル入力端子を接続した場合は、テレビや BD レコーダーなどの接続機器側のデジタル音声出力設定を「PCM」にしてください。

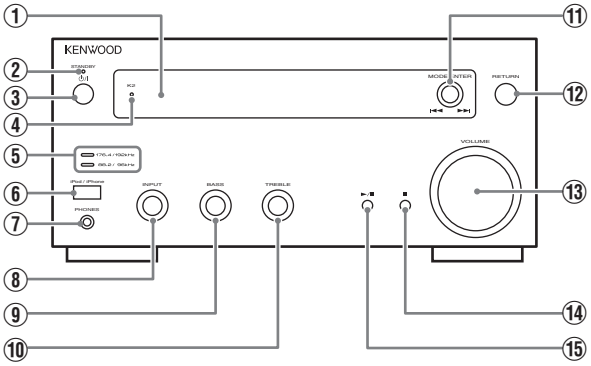
電源コードについてのご注意

- 出かけるときや長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

各部のなまえ

本体前面

• 参照ページは主な紹介ページを記載しています。



① リモコン受光部
（p. 7）

② STANDBY インジケーター
本機の電源が切れているときは赤色に点灯します。電源が入っているときは消灯します。
本機がネットワークスタンバイに設定されているとき（Net Standby 設定が Enable のとき）はオレンジ色に点灯します。

③ ⏻/I（電源）
（p. 13）

④ K2 インジケーター
（p. 43）

⑤ サンプリングレートインジケーター
再生する音源のサンプリング周波数に応じて点灯します。

⑥ USB 端子（iPod/iPhone）
（p. 14、18）

⑦ PHONES 端子
ヘッドホンを接続します。
• ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

⑧ INPUT
（p. 13、15、19、25、41）

⑨ BASS
（p. 42）

⑩ TREBLE
（p. 42）

⑪ MODE/ENTER I◀◀/▶▶I
（p. 15、19、20、32、46）

⑫ RETURN
（p. 16、21、36）

⑬ VOLUME
（p. 13）

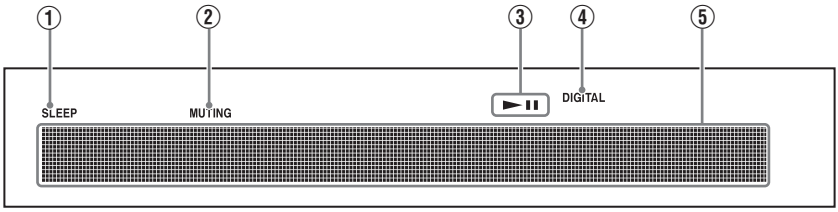
⑭ ■（停止）

⑮ ▶/❚❚（再生/一時停止）

お知らせ

• 電源が切れているとき（スタンバイ状態）にも、少量の電力を消費します。

表示部



① SLEEP アイコン
（p. 44）

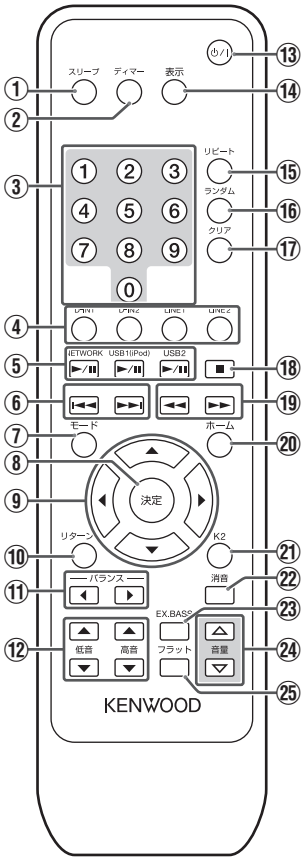
② MUTING アイコン
（p. 13）

③ 再生状態アイコン
▶（再生）アイコン
❚❚（一時停止）アイコン

④ DIGITAL アイコン
音源が「D-IN」で、デジタル信号が入力されている時に点灯します。デジタル信号が入力されていない時は点滅します。

⑤ テキスト表示
各音源の情報を表示します。

リモコン



① スリープ
（p. 44）

② ディマー
（p. 45）

③ 数字ボタン
（p. 37）

④ 外部入力切換
（p. 41）

⑤ 音源切換、▶/❚❚
（p. 13、15、19、25）

⑥ ⏮/⏭
（p. 15、19、20、32）

⑦ モード
（p. 36、46）

⑧ 決定
（p. 16、25、31、46）

⑨ ◀ ▶ ▲ ▼
（p. 16、25、36、46）

⑩ リターン
（p. 16、21、36）

⑪ バランス ◀▶
（p. 43）

⑫ 低音 ▲▼/高音 ▲▼
（p. 42）

⑬ ⏻/I(電源)
（p. 13）

⑭ 表示
（p. 38、45）

⑮ リピート
（p. 15、21、33）

⑯ ランダム
（p. 15、20、33）

⑰ クリア
（p. 38）

⑱ ■
（p. 19、32）

⑲ ◀◀/▶▶
（p. 15、19、32）

⑳ ホーム
（p. 25、30）

㉑ K2
（p. 43）

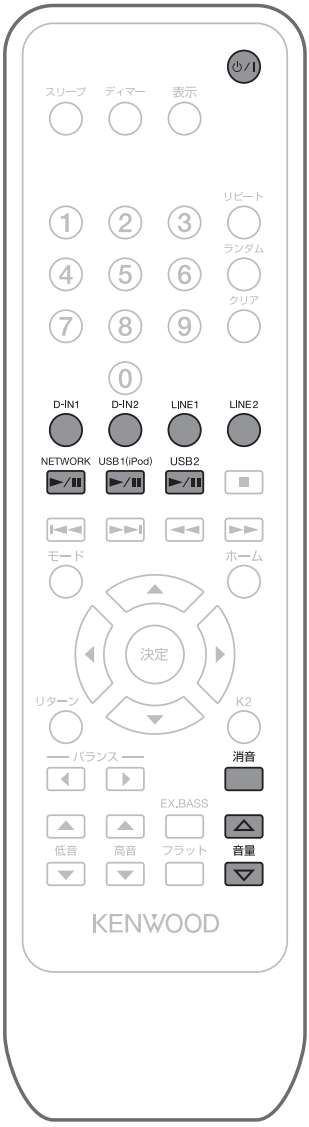
㉒ 消音
（p. 13）

㉓ EX.BASS
（p. 42）

㉔ 音量 ▲▼
（p. 13）

㉕ フラット
（p. 42）

ふだんの使いかた

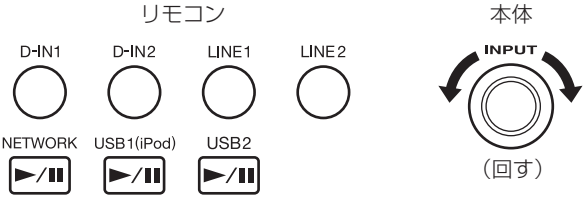


電源を入れる / 切る

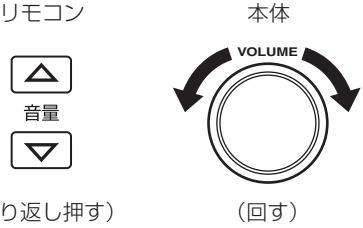
- リモコンの[NETWORK ▶/❚❚]などの各音源ボタンを押して電源を入れることもできます。

音源を選んで聞く

1 音源を選ぶ



2 音量を調節する

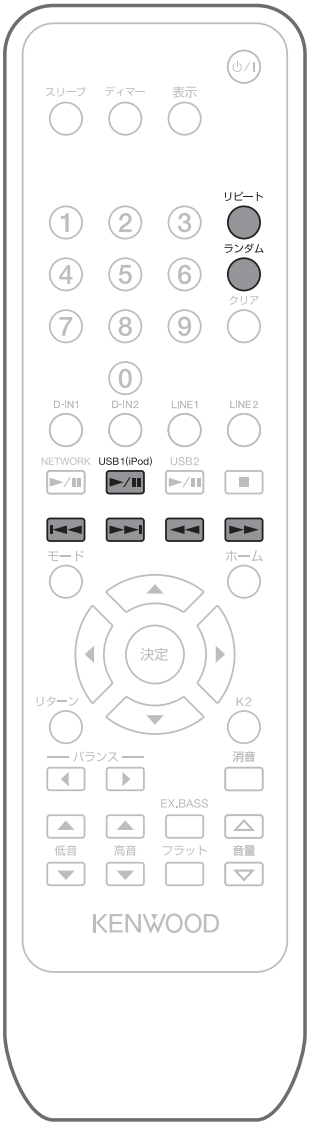


- 調節範囲: 0 ～ 50(Max)
- 押しつづけると、連続して変わります。

一時的に消音する

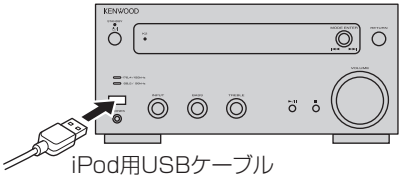
- もう 1 度押すか、音量を調節すると、消音が解除されます。

iPod/ iPhone を聞く



iPod/ iPhone を接続する

iPod を本機前面の USB 端子に接続して、本機から操作して再生できます。



iPod用USBケーブル
（ iPodに付属または市販品）

ご注意

- iPod/iPhone は、本機背面の USB 端子に接続して操作することはできません。本機前面の USB 端子に接続して操作してください。
- iPod は、停止状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルや iPod のファイルシステムが破損する恐れがあります。
- 本機から iPod に録音することはできません。

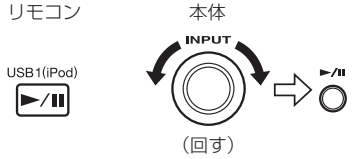
お知らせ

- iPod は以下のときに充電されます。
  - 本機のチャージモード(p. 22)をオンに設定し、電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)。本機前面の USB 端子に接続すると充電されます。
  - 音源にかかわらず本機の電源が入っているとき。本機前面の USB 端子に接続すると充電されます。
- iPod/iPhone の充電池またはバッテリーが完全に消耗している場合、充電機能が働かないことがあります。その場合は、一度本機の電源を入れなおしてください。

iPod の操作には、Standard Mode（通常モード）と Extended Mode（エクステンドモード）があります（p. 17）。以下の操作は Standard Mode（通常モード）で操作してください。

再生する

再生する

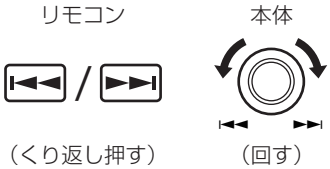


- 本体側で操作するときは、iPod の認識が終わった後、[►/II]を押してください。iPod の再生が始まります。

一時停止する

- もう 1 度押すと、一時停止を解除します。

曲を選ぶ



- 次の曲に移動するには、[►►I] を押します。
- 再生している曲の最初に移動するには、[I◄◄] を押します。続けて 2 回押すと、前の曲に移動します。

早戻し/早送りする

再生中に

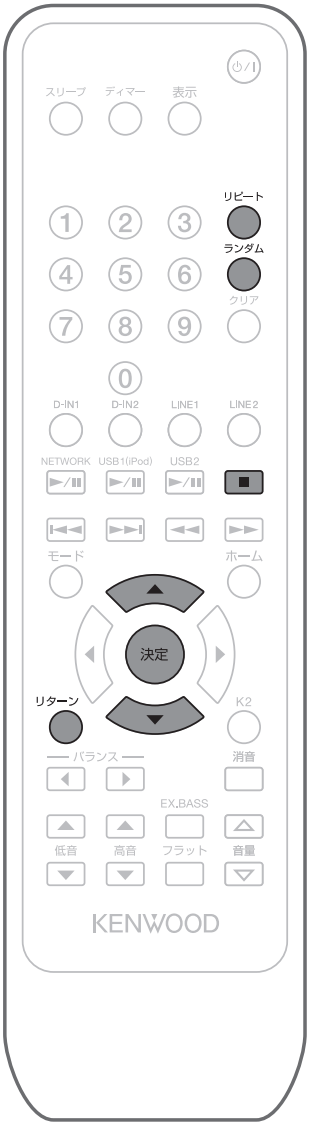
- 早戻しするには、[◄◄] を押し続けます。
- 早送りするには、[►►] を押し続けます。

シャッフル再生をする

- 押すたびに iPod のシャッフル再生モードが切り換わります。

リピート再生をする

- 押すたびに iPod のリピート再生モードが切り換わります。



iPod/ iPhone のメニューを操作する

1 メニューを表示する

リターン

2 項目を選ぶ

（くり返し押す）

前のメニューに戻る

- [リターン]を押す。

お知らせ

- iPod の種類により、動作が異なることがあります。
- iPod のイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。
- 一部の iPod では、メニュー画面の操作を行うときは、iPod で操作してください。
- iPhone または iPod touch の接続中に次の操作を行うときは、iPhone や iPod touch で操作します。
  - ホームボタンを押す
  - ホーム画面でアプリケーションアイコンを選ぶ
  - スライダーをドラッグする
- iPod の操作については、iPod の取扱説明書をご覧ください。

本機の表示部を見ながら操作する（Extended Mode：エクステンドモード）

Extended Mode（エクステンドモード）にすると、本機にコンテンツ情報が表示され、表示部を見ながら操作できます。表示されるコンテンツ情報は以下のとおりです。

トップメニューのリスト：
プレイリスト（Playlists）、アーティスト（Artists）、アルバム（Albums）、ジャンル（Genres）、曲（Songs）、作曲者（Composers）、シャッフル（Shuffle Songs）、再生中（Now Playing）

- 操作方法は以下のとおりです。

1 メニューを表示する

2 リストを選ぶ

（くり返し押す）

お知らせ

- Standard Mode（通常モード）と Extended Mode（エクステンドモード）は切り換えることができます。

Standard Mode（通常モード）と Extended Mode（エクステンドモード）を切り換える

（長押し）

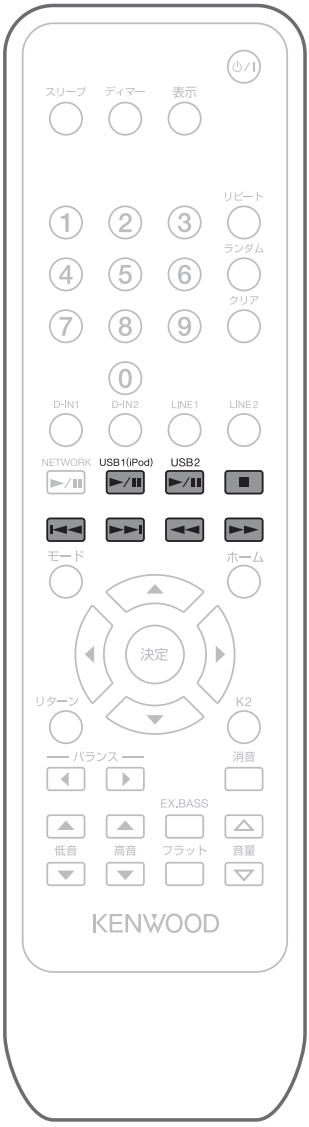
- 押し続けるたびに切り換わります。
- Standard Mode（通常モード）では、本機表示部にコンテンツ情報は表示されませんが、iPod/iPhone 本体および本機リモコンで操作できます。
- iPod/iPhone を取りはずしても設定は記憶されます。

Extended Mode（エクステンドモード）操作時のアイコン表示

Extended Mode（エクステンドモード）では[リピート]または[ランダム]を押すごとに、再生モードとアイコン表示が以下のように切り換わります。

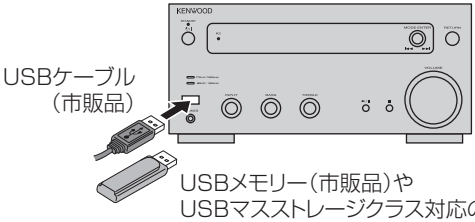
- 1 曲リピート
- 全曲リピート
- シャッフル
- シャッフルリピート
- アルバムシャッフル
- シャッフル+1 曲リピート
- アルバムシャッフル+1 曲リピート
- アルバムシャッフル+全曲リピート

USB 機器を聞く



USB 機器を接続する

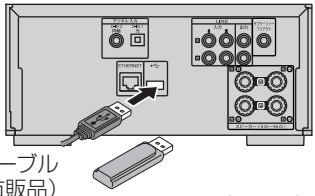
本機前面に接続する



USBケーブル
（市販品）

USBメモリー（市販品）や
USBマスストレージクラス対応の
デジタルオーディオプレーヤー（市販品）など

本機背面に接続する



USBケーブル
（市販品）

USBメモリー（市販品）や
USBマスストレージクラス対応の
デジタルオーディオプレーヤー（市販品）など

ご注意

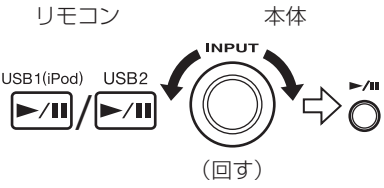
- USB 機器は、停止状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルや USB 機器のファイルシステムが破損する恐れがあります。
- ソニー製ウォークマンなど、独自のソフトウェアで音楽ファイルを管理しているオーディオプレーヤーを、本機の USB 端子に接続して使用することはできません。
  LINE 入力端子にステレオミニプラグ－ピンプラグ接続コードなどで接続して、再生してください。（p. 40）

お知らせ

- USB 機器は以下のときに充電されます。
  - 本機のチャージモード（p. 22）をオンに設定し、電源が切れているとき（スタンバイ状態のとき）。この場合、本機前面の USB 端子に接続したときのみ充電されます。
  - 音源にかかわらず本機の電源が入っているとき。本機前面または本機背面の USB 端子に接続すると充電されます。

再生する

再生する



- 本機前面に接続した USB 機器を再生するときは、[USB1(iPod) ►/❚❚]を押してください。
- 本機背面に接続した USB 機器を再生するときは、[USB2 ►/❚❚]を押してください。
- 本体側で操作するときは、USB 機器の認識が終わった後、[►/❚❚]を押してください。

お知らせ

- USB 機器のプログラム再生機能はありません。
- 本機から USB 機器に録音することはできません。

停止する

一時停止する

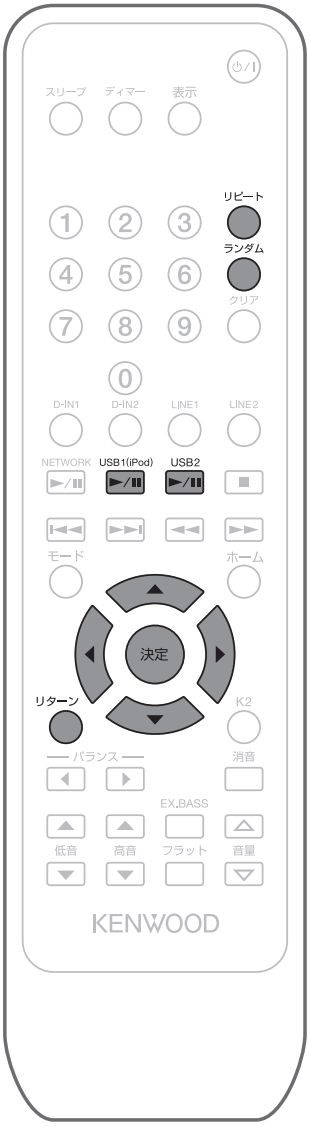
- もう 1 度押すと、一時停止を解除します。

曲を選ぶ

- 次の曲に移動するには、[►►I] を押します。
- 再生している曲の最初に移動するには、[I◄◄]を押します。続けて 2 回押すと、前の曲に移動します。

早戻し/早送りする

再生中または一時停止中に



ランダム再生をする

1 ランダムを設定する

停止中に

ランダム

- 「⤮」(ランダム)アイコンが点灯します。

2 再生する

USB1(iPod) USB2

- ランダム再生中に[⏮] を押しても、前の曲に戻ることはできません。
- 停止中に[ランダム]をもう 1 度押すと、ランダム再生が解除され、「⤮」(ランダム)アイコンが消灯します。

リピート再生をする

1 リピートの種類を選ぶ

再生中または停止中に

- 押すたびに以下のように切り換わります。
- 「🔁」(リピート)アイコン:
すべての曲をくり返します。
- 「🔁¹」(リピート 1)アイコン:
現在の曲をくり返します。
- 「📁🔁」(フォルダリピート)アイコン:
現在のフォルダの曲をくり返します。

2 再生する

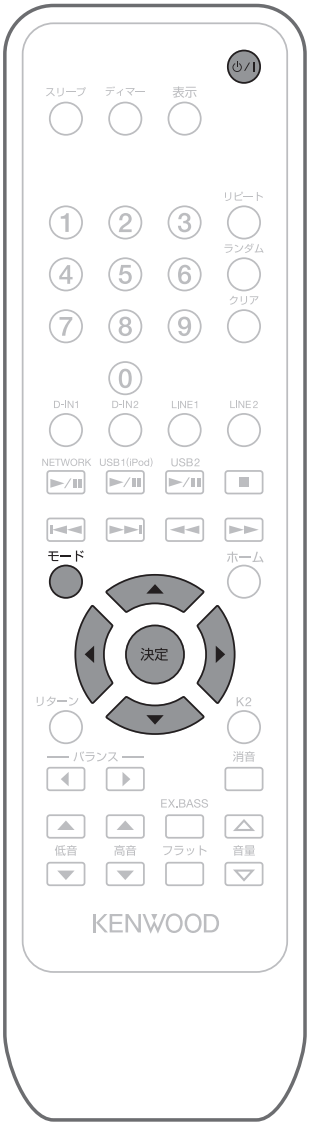
フォルダとファイルを選択して再生する

1 フォルダまたはファイルを選ぶ

- [決定]または[リターン]を押して階層を移動し、[▲] [▼] [◀] [▶]を押してフォルダまたはファイルを選びます。
- [リターン]を押すと、1 つ前の階層に戻ります。
- フォルダを選んだときに[決定]を押すと、1 つ下の階層に進みます。

2 ファイルを選んで再生する

- 再生中は[◀] [▶] を押して前後のファイルを選べます。
- USB 機器によっては、フォルダを選べないことがあります。



チャージモードで機器を充電する

本機の電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)に iPod や USB 機器への充電をするかしないかを設定します。設定は本機の電源が入っている状態で行なってください。

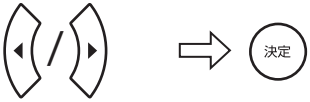
- チャージモードは、本機前面の USB 端子でのみ使用できます。

1 設定メニューを表示する

2 「Charge Mode」を選ぶ

(くり返し押す)

3 「On」または「Off」を選ぶ



(くり返し押す)

- 「On」(初期設定):
  iPod または USB 機器を接続すると充電を開始します。
- 「Off」:
  iPod または USB 機器を接続しても充電されません。

4 電源を切る(スタンバイ状態にする)

5 iPod または USB 機器を接続する

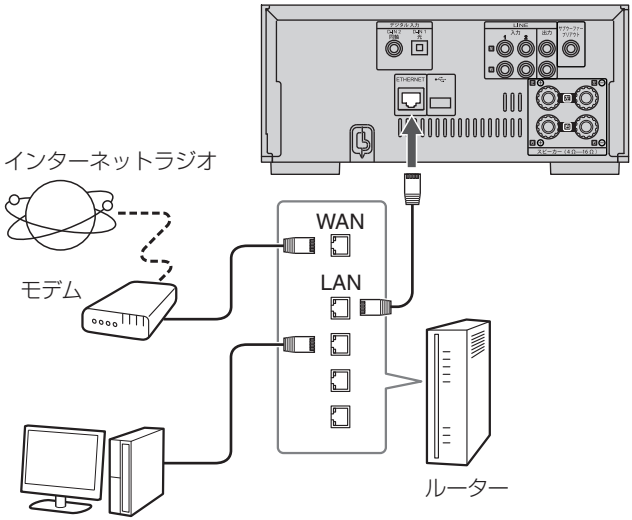
表示部に「Charging」と表示され、充電が開始されます。

- チャージモードをオンに設定している場合、電源が切れているとき(スタンバイ状態)の消費電力が増加します。
- 「ReadyCharging」と表示されたときは、少しお待ちください。待機後「Charging」と表示され自動的にチャージモードになります。「ReadyCharging」表示中に iPod や USB 機器を取りはずすとスタンバイ状態になりません。再度スタンバイ状態にするには、電源ボタンを 2 回押してください。

ネットワーク機器を使う

ネットワーク機器を接続する

ネットワーク機器を以下のように接続して、ネットワーク（LAN）を構築します。

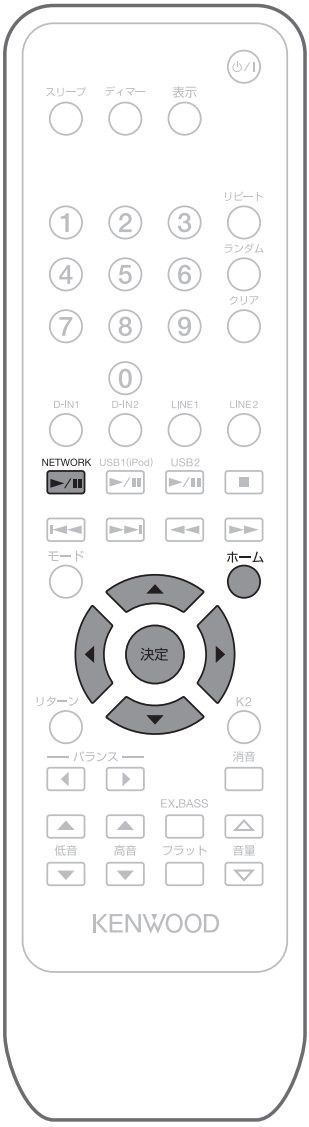


- ネットワーク機器やインターネットへの接続には、個々の機器の設定が必要になります。これらの設定については、各機器の取扱説明書やメーカー、インターネットサービスプロバイダ（ISP）にご確認ください。

操作説明冒頭のアイコンについて

アイコン　：パソコン側での操作を表しています。

アイコン：主に本機側での操作を表しています。



ネットワークサーバー内の音楽ファイルを再生する

ネットワークサーバー内の音楽ファイルを、本機を操作して本機から再生できます。
はじめに再生したいサーバーの設定を行います。

- 対応サーバーについては p. 50 をご覧ください。

ネットワークサーバーを設定する

再生したい音楽ファイルが入っているネットワークサーバーを設定します。
ここでは、Windows Media® Player 11 を例として説明します。

1 パソコンの電源を入れ、Windows Media Player 11 を開く

2 「ライブラリ」メニューをクリックし、「メディアの共有」をクリックする

ダイアログボックスが開きます。

3 「メディアを共有する」チェックボックスにチェックを入れ、「OK」をクリックする

対応機器が表示されます。

4 本機を選んで、「許可」をクリックする

本機のアイコンがチェックの付いたものになります。

5 「OK」をクリックして、ダイアログボックスを閉じる

以上で設定は完了です。

ご注意

- メディアサーバーの種類によっては、本機で認識できなかったり、サーバーに保存された音楽ファイルを再生できない場合があります。

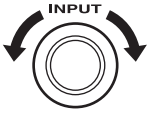
音楽ファイルを再生する

1 音源を「NETWORK」にする

リモコン

NETWORK

本体



（回す）

2 パソコンまたはネットワークサーバーを起動する

3 ネットワークサービスメニューを表示する

ホーム

4 「DLNA」を選ぶ

（くり返し押す）

5 ネットワークサーバーを選ぶ

ネットワークサーバーの項目が表示されます。

6 フォルダを選ぶ

（くり返し押す）

7 再生したい音楽ファイルを選ぶ

（くり返し押す）

- [決定]の代わりに[NETWORK▶/❚❚]を押しても再生が始まります。

ご注意

- 本機はネットワークサーバーにある写真や動画にアクセスすることはできません。
- サーバーから情報を取得できなかった場合、「No Item」と表示されます。サーバー、ネットワーク、接続を確認してください。
- ネットワークサーバーの共有設定によっては、内容を表示できない場合があります。ネットワークサーバーの取扱説明書をご覧ください。
- サーチ機能に対応していないネットワークサーバーでは、サーチ機能は働きません。

リモート再生する

リモート再生とは、ネットワーク内の DLNA 準拠のコントローラー機器やパソコンを操作することにより、それぞれの機器に保存された音楽ファイルを本機から再生する機能です。

ネットワークサーバーやパソコンに保存された音楽ファイルを本機で再生するためには、はじめに Windows Media® Player 12 の設定を行います。

Windows Media Player 12 の設定をする

1 パソコンの電源を入れ、Windows Media Player12 を開く

2 「ストリーム(R)」をクリックして、「メディア ストリーミングを有効にする」を選ぶ

ダイアログボックスが開きます。

- メディアストリームがすでに有効になっている場合は、「その他のストリーミング オプション」をクリックすると、ネットワーク内の再生機器一覧が表示されますので手順 4 へ進んでください。

3 「メディア ストリーミングを有効にする」をクリックする

ネットワーク内の再生機器一覧が表示されます。

4 「メディア ストリーミング オプション」で本機を選び、「許可」になっていることを確認する

5 「OK」をクリックして、ダイアログボックスを閉じる

以上で設定は完了です。

お知らせ

- 「ストリーム(R)」をクリックして、「プレーヤーのリモート制御を許可」にチェックが入っていることも確認してください。

リモート再生する

1 本機の電源を入れる

2 音源を「NETWORK」にする

リモコン　　本体

- radiko など、ネットワーク上の音声を再生している場合には、リモコンの[ホーム]を押す、または[リターン]を数回押して一番上のメニューに移動します。メニューから、[▲] [▼]を押して「DLNA」を選び、[決定]を押してください。

3 パソコンの電源を入れ、Windows Media Player12 を開く

4 Windows Media Player 12 で再生したい音楽ファイルを選び、右クリックする

右クリックメニューが表示されます。

- 別のネットワークサーバー内の音楽ファイルをリモート再生するには、「その他のライブラリ」からネットワークサーバーを開き、再生したい音楽ファイルを選びます。

5 「リモート再生」または「Play To」から本機をクリックする

Windows Media Player 12 の「リモート再生」ウィンドウが開き、本機で再生が開始されます。リモート再生中の操作は、お使いの Windows 7 または Windows 8 の「リモート再生」ウィンドウで行います。

6 音量を調整する

「リモート再生」ウィンドウの音量バーを操作して、本機の音量を調整できます。標準の最大音量は「50」です。

- 「リモート再生」ウィンドウと本機の音量値は一致しない場合があります。
- 本機で変更した音量は、「リモート再生」ウィンドウには反映されません。

ご注意

- 以下のいずれかの場合、本機はリモート再生できません。
  - radiko.jp などのネットワークサービスを使っている
  - USB 機器または iPod の音楽ファイルを再生している

共有フォルダ内の曲を再生する

本機と同じネットワークに接続されたパソコンまたは NAS (Network Attached Storage)の共有フォルダ内の曲を本機から再生します。
はじめに Windows 7 または Windows 8 の設定を行います。

Windows 7 の設定をする

① 共有オプションの設定をする

1 「コントロールパネル」を開き「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ホームグループと共有に関するオプションの選択」を選ぶ

- メニューが表示されない場合、「表示方法」が「カテゴリ」になってるか確認してください。

2 「共有の詳細設定の変更」をクリックする

3 「ホームまたは社内」で以下のチェックボックスにチェックが入っているか確認する

「ネットワーク探索を有効にする」/「ファイルとプリンターの共有を有効にする」/「共有を有効にしてネットワークアクセスがあるフォルダ内のファイルを読み書きできるようにする」/「パスワード保護の共有を無効にする」

4 「変更の保存」をクリックし、右上の「X」をクリックして設定画面を閉じる

② 共有フォルダの作成をする

1 共有したいフォルダを選び、右クリックする

2 「プロパティ」をクリックする

3 「共有」タブをクリックし、「詳細な共有」ボタンをクリックする

4 「このフォルダを共有する」にチェックを入れ、「OK」をクリックする

5 「ネットワークのファイルとフォルダーの共有」から「共有」ボタンをクリックする

6 プルダウンメニューから「Everyone」を選び、「追加」「共有」の順にクリックする

以上で設定は完了です。

お知らせ

- この設定では誰でもフォルダにアクセスが出来る状態になります。フォルダにユーザーとパスワードを設定する場合は、「共有」タブの「詳細な共有」にある「アクセス許可」を設定してください。
- 「ワークグループ」が設定されているかを確認してください。
- NAS(Network Attached Storage)をお使いの場合は、お手持ちの NAS の取扱説明書をご確認ください。

Windows 8 の設定をする

① 共有オプションの設定をする

1 「コントロールパネル」を開き「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする

- メニューが表示されない場合、「表示方法」が「カテゴリ」になってるか確認してください。

2 「共有の詳細設定の変更」をクリックする

3 「プライベート（現在のプロファイル）」「すべてのネットワーク」「パスワード保護共有」※ 欄で、以下の項目にチェックが入っているか確認する

「ネットワーク探索を有効にする」/「ファイルとプリンターの共有を有効にする」/「共有を有効にしてネットワークアクセスがある場合はパブリックフォルダ内のファイルを読み書きできるようにする」/「パスワード保護共有を無効にする」※

※ お使いのパソコン・OS によっては表示されません。

4 「変更の保存」をクリックし、右上の「X」をクリックして設定画面を閉じる

② 共有フォルダの作成をする

ホームグループの場合

1 共有したいフォルダを選び、右クリックする

2 「共有」から、共有方法「ホームグループ（表示）」または「ホームグループ（表示および編集）」を選ぶ

ホームグループ以外の場合

1 共有したいフォルダを選び、右クリックする

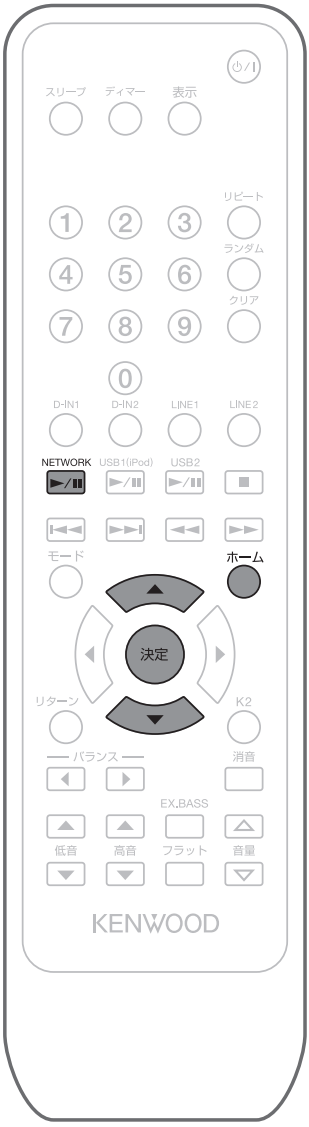
2 「共有」から「特定のユーザー」を選ぶ

3 プルダウンメニューから「Everyone」を選び、「追加」「共有」の順にクリックする

以上で設定は完了です。

お知らせ

- この設定では誰でもフォルダにアクセスが出来る状態になります。フォルダにユーザーとパスワードを設定する場合は、「共有」から 共有を許可するユーザーを設定してください。
- 「ワークグループ」が設定されているかを確認してください。
- NAS(Network Attached Storage)をお使いの場合は、お手持ちの NAS の取扱説明書をご確認ください。



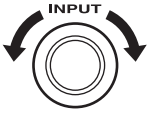
共有フォルダ内の曲を再生する

1 音源を「NETWORK」にする

リモコン

NETWORK

本体



（回す）

2 ネットワークサービスメニューを表示する

ホーム

3 「Home Media」を選ぶ

（くり返し押す）

4 共有フォルダを選ぶ

（くり返し押す）

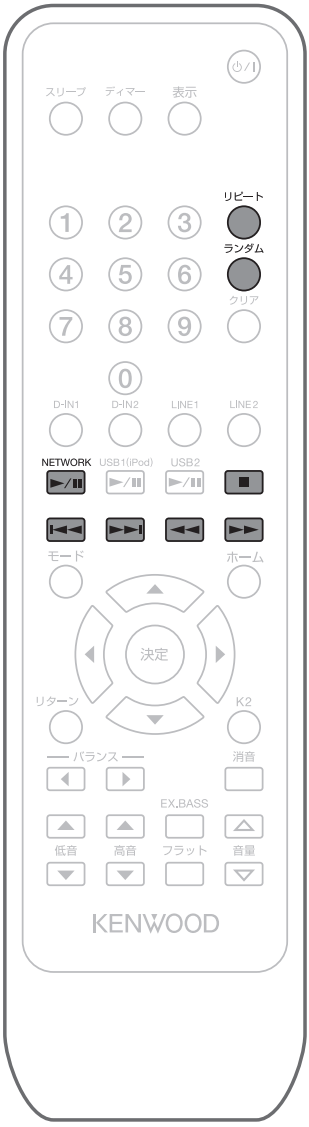
- ユーザー名とパスワードを要求された場合は、必要なアカウント情報を入力してください。(p. 38)
- 一度入力されたアカウント情報は保存され、次回からの入力が不要になります。
- アカウント情報については、共有フォルダの作成時に設定したアカウント情報を使用してください。

5 再生したい音楽ファイルを選ぶ

（くり返し押す）

再生が始まります。

- [決定]の代わりに[NETWORK▶/❚❚]を押しても再生が始まります。



ファイルを操作する

停止する

■

- 停止後に再度再生すると、再生していた曲の先頭から再開します（リジューム機能）。

一時停止する

NETWORK
►/II

- もう 1 度押すと、一時停止を解除します。

曲を選ぶ

リモコン　　本体

I◄◄ / ►►I

（くり返し押す）　（回す）

- 次の曲に移動するには、[►►I] を押します。
- 再生している曲の最初に移動するには、[I◄◄] を押します。続けて 2 回押すと、前の曲に移動します。

早戻し/早送りする

再生中または一時停止中に

◄◄ / ►►

（長押し）

ご注意

- メディアサーバーによっては、一時停止/早戻し/早送りの操作ができない場合があります。

ランダム再生をする

1 ランダムを設定する

停止中に

- 「」(ランダム)アイコンが点灯します。

2 再生する

- ランダム再生中に[I◄◄] を押しても、前の曲に戻ることはできません。
- 停止中に[ランダム]をもう 1 度押すと、ランダム再生が解除され、「」(ランダム)アイコンが消灯します。

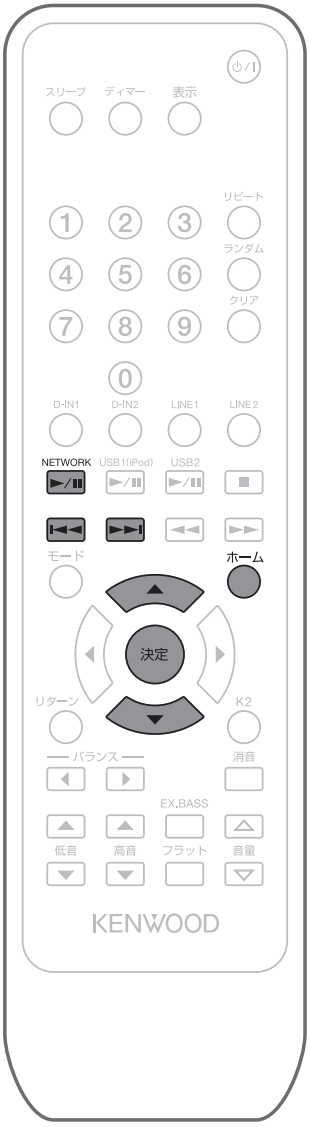
リピート再生をする

1 リピートの種類を選ぶ

再生中または停止中に

- 押すたびに以下のように切り換わります。
- 「」(リピート)アイコン:
  すべての曲をくり返します。
- 「」(リピート 1)アイコン:
  現在の曲をくり返します。
- 「」(フォルダリピート)アイコン:
  現在のフォルダの曲をくり返します。
- アイコン消灯:
  リピート再生を解除します。

2 再生する



radiko.jp を聞く

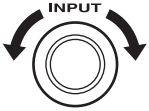
radiko.jp は地上波ラジオ放送を CM も含め、そのまま同時に放送エリアに準じた地域に配信するサイマルサービスです。

- 対応（聴取可能）エリア、対応放送局について詳しくは radiko.jp の Web サイト（http://radiko.jp）をご覧ください。

1 音源を「NETWORK」にする

リモコン

本体



（回す）

2 ネットワークサービスメニューを表示する

3 「radiko.jp」を選ぶ

（くり返し押す）

本機が接続されているエリアに応じた放送局リストが表示されます。

- radiko.jp サービスが行われていない地域、もしくはサービス停止中の場合、エラーメッセージが表示されます。

4 放送局を選ぶ

（くり返し押す）

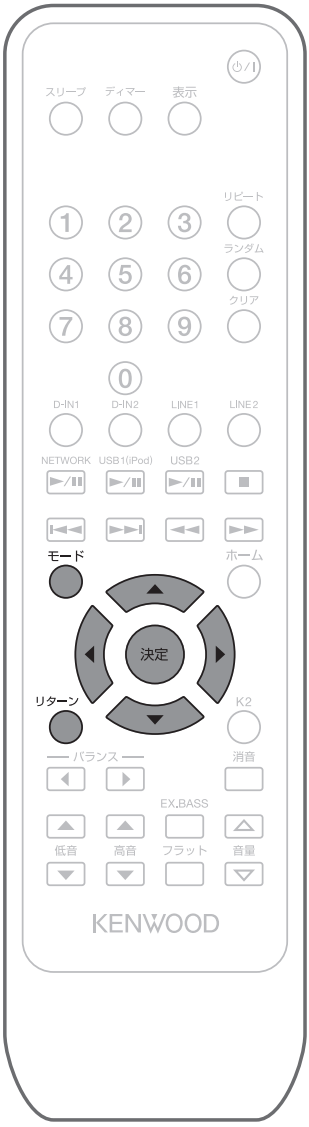
再生が始まります。

- 楽曲情報を提供している放送局を選択した場合は、楽曲のアーティスト名、楽曲名が表示されます。
- 楽曲情報が無い放送局の場合は、番組名、出演者名が表示されます。
- 再生中に、[|◄◄]/[►►|]を押すと、放送局が切り換わります。

お知らせ

- 以下のメニューを選択するには、放送局の再生中に[モード]を押し続けます。

- Today's Program：
当日の番組一覧が表示されます。
- Tomorrow's Program：
明日の番組一覧が表示されます。
- Program's detail：
再生している番組の番組詳細が表示されます。
- Topics：
番組のトピックスが表示されます。放送された楽曲のリストやおすすめ情報など、放送をより楽しむための情報が表示されます。



ネットワーク設定を変更する

操作方法

1 設定メニューを表示する

リモコン　　本体

モード　　MODE / ENTER

（長押し）

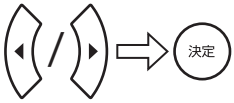
2 「Network Setup」を選ぶ

（くり返し押す）

3 変更したい設定項目を選ぶ

（くり返し押す）

4 変更したい設定オプションを選ぶ



（くり返し押す）

- 前のメニューに戻るには、[リターン]を押します。
- 途中で設定を中止するには、[モード]を押してください。

5 設定の変更内容を記憶させる

[リターン]を押し、「Network Save?」と表示されたら、[決定]を押します。

「Save Setting.」と表示された後、「Network Setup」と表示されたら、[リターン]を押します。

- 詳細は、次のページをご覧ください。

Network Setup の各設定について

ネットワーク設定を変更する場合は、変更後「Network Save?」と表示されたあと、[決定]を押して設定を保存してください。

- 設定を保存しない場合は[▲] [▼]を押して「NetworkCancel」を選び、[決定]を押してください。

本機をネットワーク(LAN)に接続して使えるようにするために、ネットワーク設定をする必要があります。

- DHCP でネットワーク(LAN)を構築している場合は、DHCP を「Enable」に設定すると、ネットワーク(LAN)で使用できるようになります(初期設定です)。
- 各機器に固定 IP アドレスを割り当てている場合は、「IP Address」で本機に IP アドレスを割り当て、ゲートウェイアドレスやサブネットマスクなどお使いのネットワーク(LAN)に関する情報を入力してください。

IP Address

ISP から提供された IP アドレスを入力してください。ほとんどのルータは Class C を使用します。
Class A ： 10.0.0.0～10.255.255.255
Class B ： 172.16.0.0～172.31.255.255
Class C ： 192.168.0.0～192.168.255.255

- 数字ボタンと[決定]でも入力できます。

MAC Address

本機の MAC アドレスを確認できます。この値は機器固有のもののため、変更することはできません。

DHCP

この設定で本機の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバーを自動で設定するかどうかを設定します。
Enable ： 自動設定(初期設定です)
Disable ： 手動設定

- 「Disable」を選んだ場合、「IP Address」、「Subnet Mask」、「Gateway」、「DNS Server」を手動で設定してください。

Subnet Mask

ネットワーク(LAN)のサブネットマスクを表示または設定します。

Gateway

ネットワーク(LAN)のゲートウェイアドレスを表示または設定します。

DNS Server

ネットワーク(LAN)の DNS サーバー(プライマリ)を表示または設定します。

Proxy URL

プロキシサーバーの URL を入力します。URL が不明な場合は、ご使用の ISP にお問い合わせください。

- URL の入力方法については、p. 38 をご覧ください。

Proxy Port

この設定は上記「Proxy URL」設定が入力されているときだけ機能します。プロキシサーバーのポート番号を入力します。ポート番号が不明な場合は、ご使用の ISP にお問い合わせください。

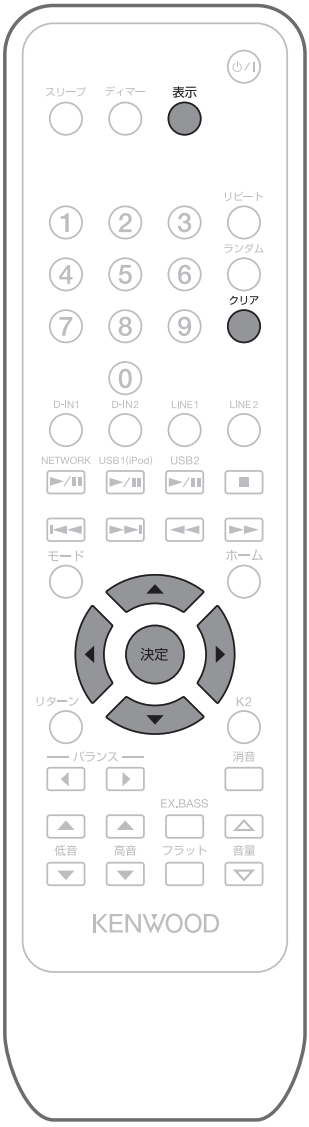
Net Standby

電源が切れているとき(スタンバイ状態のとき)に、ネットワークを通じて本機をコントロールできるかどうかを設定します。
Disable ： コントロールできません。(初期設定です)
Enable ： 本機をコントロールすることができます。

- 「Enable」に設定している場合、スタンバイ状態での消費電力が増加します。STANDBY インジケーターがオレンジ色に点灯します。

お知らせ

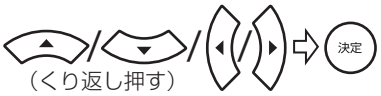
- 同じネットワークに接続されたパソコンなどのインターネットブラウザの URL 欄に本機の IP アドレスを入力すると、Web Setup 画面が表示され、画面上でネットワークの設定を変更することができます。



文字を入力する

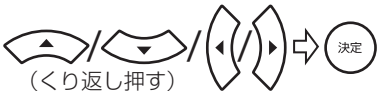
パスワードや Web サイトの URL などを入力する場合には、以下の手順で入力してください。

1 文字・記号を選ぶ



この操作をくり返して文字を入力します。

2 入力が終わったら、「OK」を選ぶ



この操作を行わないと保存されません。

- 入力できる文字は以下のとおりです。

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	=	`
{	}	¦	:	"	<	>	?	S p a c e				
S h i f t					<-	->	B S		O K			

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
!	@	#	$	%	^	&	*	(	)	_	+	~
[	]	\	;	’	,	.	/	S p a c e				
S h i f t					<-	->	B S		O K			

Space：
1 文字分空白のスペースを入力します。

Shift※1：
表示する文字が切り換わります。

←→：
名前入力エリア内でカーソルを移動するときに選びます。

BS（Back Space）※2：
カーソル位置から、左側の文字を削除します。カーソル位置は左に動きます。

OK：
入力が完了したときに押します。

※1 [表示]を押すことでも切り換わります。

※2 [クリア]を押すと、入力したすべての文字を削除できます。

Wi-Fi Remote Control アプリを使う

- Android 端末や iPhone などのアップル社製端末では、専用アプリ「KENWOOD Audio Control WR2」を使って、同じネットワークに接続されたサーバー内の音楽を再生・操作することができます。

お知らせ

- アプリのダウンロードは、Android 端末では Google Play（Play ストア）から検索して、ダウンロードしてください。アップル社製端末では App Store から検索して、ダウンロードしてください。
- アプリを使うためには、お使いの Android 端末の OS が Android OS 2.3 以降の端末をお使いください。
- アプリを使うためには、パソコンや NAS (Network Attached Storage)、無線 LAN ルーターが必要です。
- アプリの画面や内容は変更になる場合があります。
- すべての端末での動作を保証するものではありません。

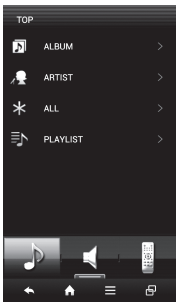
アプリでは次の操作が行えます。

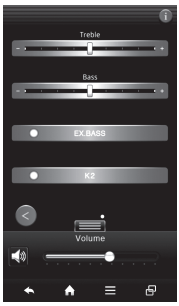
- 電源の入/切
- 音源の選択
- ネットワーク内の音楽ファイルの再生
- 音量の調節

操作など詳しくは、下記 Web サイトをご覧ください。

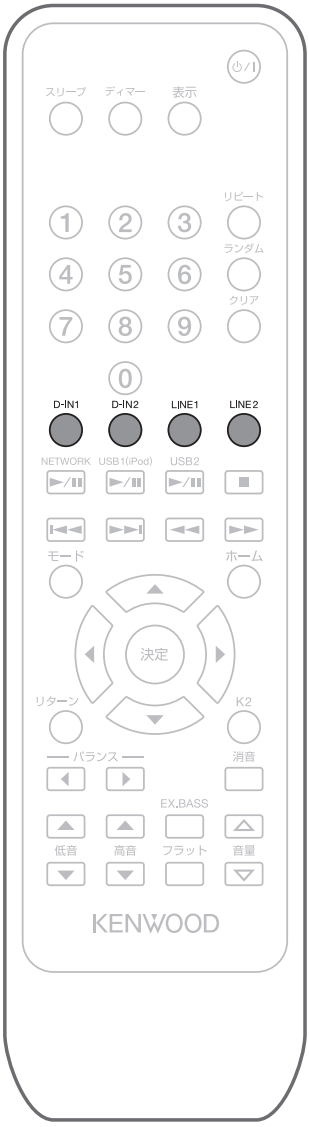
http://www2.jvckenwood.com/products/home_audio/acoustic/index.html

※アプリの操作画面例です

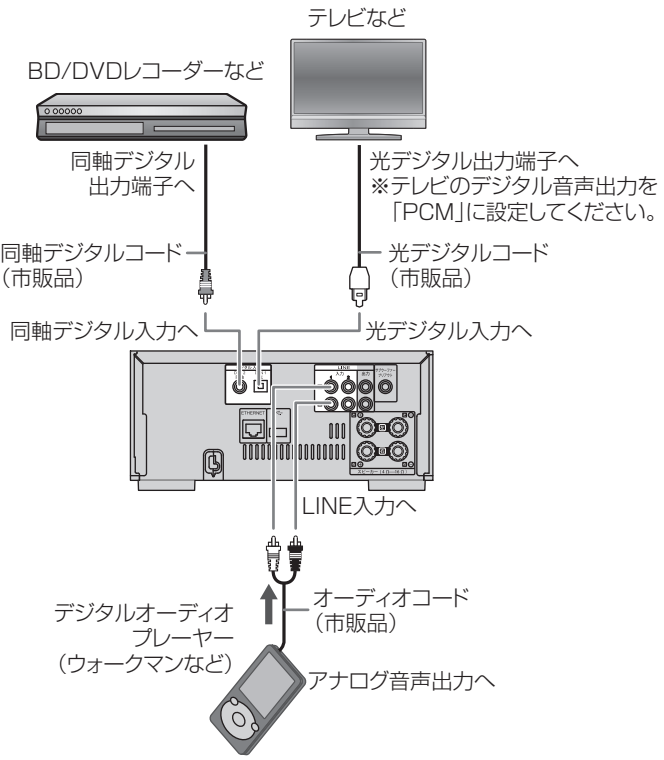




外部機器を聞く



外部機器を接続する



- お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

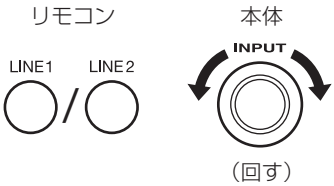
お知らせ

- ソニー製ウォークマンなど、USB 接続できない機器の場合は、LINE 入力端子にステレオミニプラグ－ピンプラグ接続コードなどで接続して、再生してください。

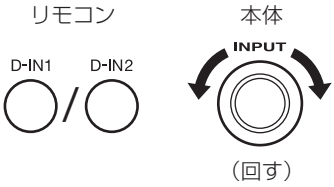
再生する

1 外部機器を接続した入力を選ぶ

LINE 入力端子に接続した機器を再生する場合



デジタル入力端子に接続した機器を再生する場合



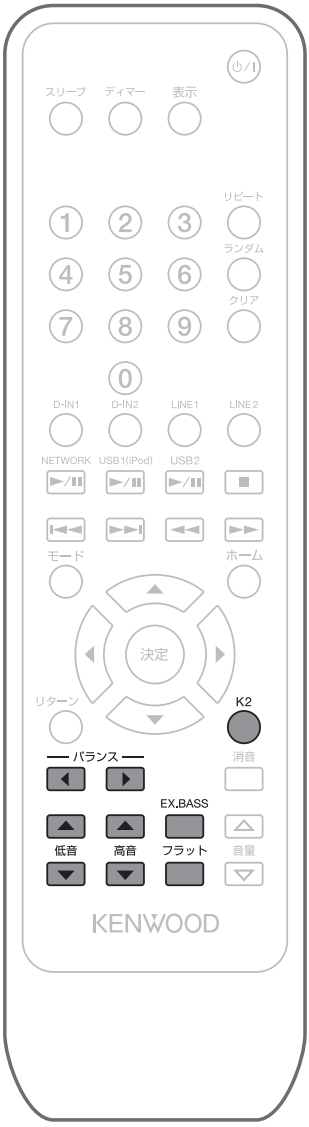
- 「D-IN」を使用するときは、外部機器のデジタル音声の出力設定を「PCM」にしてください。
  「PCM」以外に設定されていると、音声は出力されません。

2 外部機器の再生を始める

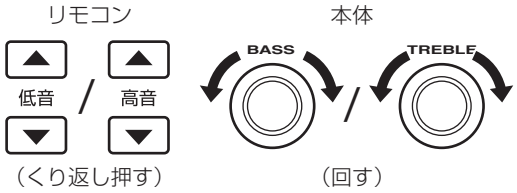
お知らせ

- 本機で再生できるデジタル信号は、PCM（32 kHz ～ 192 kHz）です。

音質を設定する



お好みの音質に設定する



- それぞれ以下の範囲で調節できます。
  - 低音：Bass -8 から Bass +8
  - 高音：Treble -8 から Treble +8
- 値が 2 ずつ変化します。

重低音を強める（EX.BASS）

- 押すたびにオンとオフが切り換わります。

音質設定をリセットする

- 低音と高音の設定が 0 に、EX.BASS の設定がオフになります。

お知らせ

- ヘッドホンからの音声にも効果があります。

再生音質を高める（K2 機能）

K2 機能は、録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生を可能にします。
デジタル音声にハイビット化（24bit）およびハイサンプリング化（128 kHz、176.4 kHz または 192 kHz）の処理を行い、信号成分を補完します。

音源が「USB1(iPod)」、「USB2」、「NETWORK」、デジタル入力（「D-IN1」、「D-IN2」）のとき

- 押すたびにオンとオフが切り換わります。
- K2 機能がオンのときに K2 インジケーターが点灯します。

お知らせ

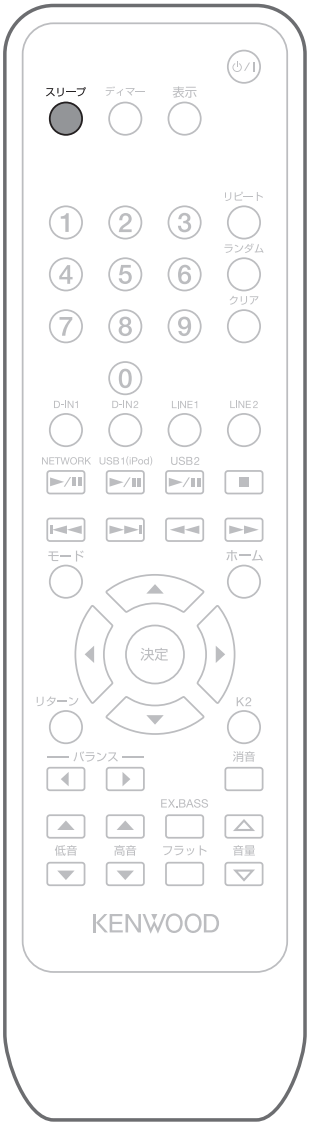
- 音源が LINE 入力（「LINE1」、「LINE2」）のときは、「Analog Source」と表示され、調節できません。

スピーカーの左右の音量バランスを調整する

（くり返し押す）

- バランスは左右 7 段階の調整が可能です。

タイマーを使う



スリープタイマーを設定する

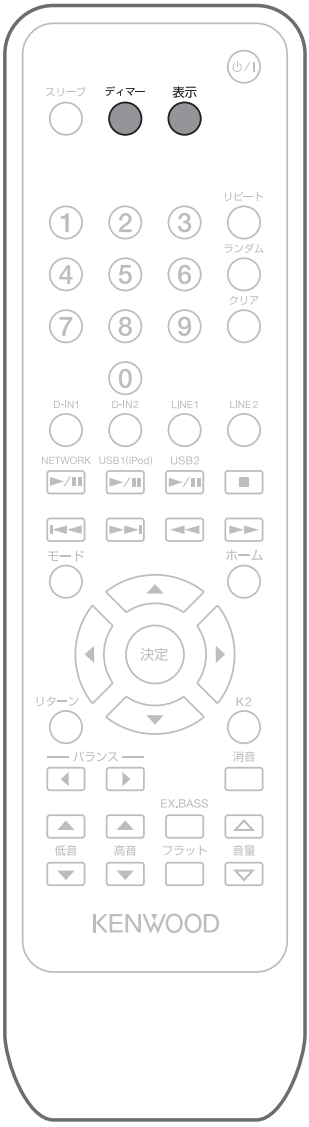
設定した時間が経過すると、本機の電源が自動的に切れます。

スリープ

（くり返し押す）

- 押すたびに電源が切れるまでの時間（単位：分）が次のように切り換わります。
  Off ➡ 10 ➡ 20 ➡ 30 ➡ 60 ➡ 90 ➡ 120 ➡（最初に戻る）
- スリープタイマーがオンのとき、「SLEEP」アイコンが点灯します。
- 残り時間を確認するには、[スリープ]を 1 回押してください。
- スリープタイマーを解除するには、電源をオフにするか、「Off」を選んでください。

その他の設定



表示される情報を変える

表示

（くり返し押す）

- 押すたびに時間表示や情報に切り換わります。
- 音源によって、表示される情報は異なります。
- オーディオファイルの再生中は、表示部にタグ情報が表示されます。
- 曲名、アーティスト名、アルバム名、経過時間などを切り換えることができます。

表示例：USB 機器再生時

表示例：ネットワーク機器再生時

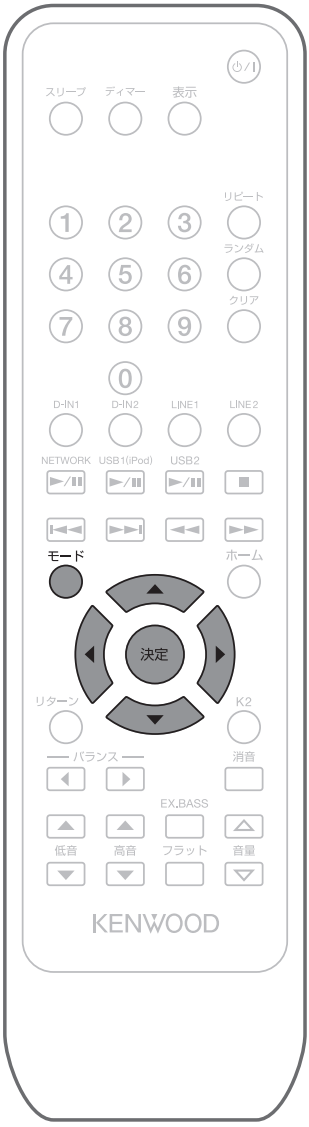
表示の明るさを変える

お好みやお部屋の状態によって調節してください。

ディマー

（くり返し押す）

- 押すたびに表示部の明るさが以下のように切り換わります。
  通常の明るさ ➡ 輝度が下がる ➡ 輝度がさらに下がる ➡（最初に戻る）
- 電源を切っても設定は消えません。



オートパワーセーブ(節電機能)を使う

無操作が約 15 分間続くと、自動で電源がオフになる機能です。

お知らせ

- お買い上げ時にはオートパワーセーブはオンになっています。オフにするときは以下の手順で「Off」を選んでください。

1 設定メニューを表示する

リモコン　　本体

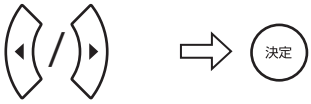
モード　　MODE / ENTER

（長押し）

2 「A.P.S. Set」を選ぶ

（くり返し押す）

3 「On」または「Off」を選ぶ



（くり返し押す）

On ： 以下のような状態で約 15 分間何も操作が行われない場合、本機の電源が自動的に切れます。

- 音量が 0 のとき、または消音しているとき
- 音源が「USB1(iPod)」、「USB2」または「NETWORK」で、機器を接続していないとき
- 音源が「USB1(iPod)」、「USB2」または「NETWORK」で、停止状態のとき
- 音源が「D-IN1」、「D-IN2」または「LINE1」、「LINE2」で、音声が入力されていないとき

Off ： オートパワーセーブがオフになります。

- 本機の電源が切れる約 30 秒前に「A.P.S.」表示が点滅を始めます。
- 途中でボタン操作を行なった場合は、その時点から 15 分間カウントし直します。
- スリープタイマーの動作中もオートパワーセーブは働きます。

ご注意

- 外部機器で録音するときは、オートパワーセーブをオフにする、または本機の音量を 1 以上にして録音してください。

その他

再生できる iPod

Made for	※
iPod nano（第 7 世代）	1.0.1
iPod nano（第 6 世代）	1.2
iPod nano（第 5 世代）	1.0.2
iPod nano（第 4 世代）	1.0.4
iPod nano（第 3 世代）	1.1.3
iPod nano（第 2 世代）	1.1.3
iPod touch（第 5 世代）	6.1.3
iPod touch（第 4 世代）	6.1.3
iPod touch（第 3 世代）	5.1.1
iPod touch（第 2 世代）	4.2.1
iPod touch	3.1.3
iPod classic	2.0.4
iPhone 5	6.1.4
iPhone 4s	6.1.3
iPhone 4	6.1.3
iPhone 3GS	6.1.3
iPhone 3G	4.2.1

※ 動作確認時のソフトウェアのバージョン

- iPod が正しく再生されないときは、iPod の最新版ソフトウェアをダウンロードし、アップデートしてください。
  iPod について詳しくは、Apple 社のウェブサイトをご覧ください。<http://www.apple.com/>

USB 機器のご注意

- 再生できる USB 機器のファイルは、MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/Apple Lossless/DSD の各ファイルです。
- USB 端子には、USB フラッシュメモリーや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー以外の機器を接続しないでください。
- USB 機器の容量は 16GB 以下を推奨します。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くかかります。
- USB 機器のセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- 本機の USB 端子は、パソコンとは接続できません。
- 接続する機器によっては誤動作する場合があります。このときは、本機の電源を 1 度切ってから入れ直してください。
- USB ハブは使用しないでください。
- すべての USB 機器の動作を保証するものではありません。
- USB 機器が複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
- USB 機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。
- USB 機器によっては、本機が認識できないことがあります。
- USB 機器に再生可能なファイルがない場合は、再生は開始されません。
- 本機から USB 機器へ録音することはできません。
- 本機では、ファイルやフォルダを削除することはできません。
- 接続するときは、USB 機器の取扱説明書もご覧ください。

オーディオファイルのご注意

- 再生できるオーディオファイルは<.mp3>/<.MP3>、<.wma>/<.WMA>、<.aac>/<.AAC> 、<.m4a>/<.M4A>、<.wav>/<.WAV> 、<.flac>/<.FLAC> 、<.dsf>/<.DSF>の拡張子がついているファイルです。
- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成されたオーディオファイルを再生できます。

サンプリング周波数

MP3:	8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
WMA:	8 kHz、11.025 kHz、16 kHz、22.05 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
AAC:	8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz
Apple lossless:	8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz
WAV:	8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz、192 kHz

※ 176.4 kHz、192 kHz は本機背面への USB 端子接続には対応していません。

FLAC:	8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz、192 kHz
DSD:	2.8224 MHz
LPCM:	8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、96 kHz

転送レート

MP3:	8 kbps - 320 kbps
WMA:	5 kbps - 320 kbps
AAC:	8 kbps - 320 kbps

量子化ビット数

Apple lossless:	16 bit、24 bit
WAV:	16 bit、24 bit
FLAC:	16 bit、24 bit
LPCM:	16 bit、24 bit

- 本機で認識できるファイル数は、1 フォルダあたり最大 20,000 ファイルです。
- フォルダ階層数は最大 16 階層まで認識できます。
- DRM ファイルは再生できません。
- 1 曲が 2GB 以上のファイルは再生できません。
- 録音状態や記録方法によっては再生できないオーディオファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。
- オーディオファイルの再生順について（オーディオファイルを含まないフォルダは無視されます。）
  - 先に作成したフォルダから順に再生します。フォルダ内では先に記録した曲から順に再生します。
  - 記録のしかたによっては、順番が異なることがあります。
  - フォルダ名やファイル名を変えると、順番が変わることがあります。
- フォルダ名、ファイル名の頭に「01」から「99」などの番号を付けてメディアに記録すると、再生する順番を設定することができます。
- 本機は ID3 TAG VERSION1,2（曲名、アーティスト名、アルバム名）、ファイル名、フォルダ名を表示できます。
- 表示できる最大文字数は以下のとおりです。

  ファイル名/フォルダ名およびタグ表示（タイトル/アルバム名/アーティスト名）：128 文字

ネットワーク(LAN)について

複数の機器をケーブルなどで接続し、お互いに通信できるようにしたものをネットワークといいます。
家庭ではパソコンなどをインターネットに接続したり、複数のパソコンで相互にデータをやりとりしたりするために、ネットワークを作る(一般的に構築するといわれます)ケースが多いようです。
このように家庭内など比較的狭い範囲に構築されるネットワークは LAN(Local Area Network)と呼ばれます。

本機はパソコンなどのネットワークサーバーと接続することで、ネットワークサーバー内(パソコン内)の音楽ファイルを再生したり、インターネットと接続することでインターネットラジオを聞いたりすることができます。
その際本機とパソコンやインターネットを直接接続するのではなく、パソコンやインターネットと接続するためのいくつかの機器(ネットワーク機器)が必要になります。

LAN の構築に必要な機器は以下のとおりです

- ルーター
- イーサネットケーブル(CAT-5)、(CAT-5e)、(CAT-6)(カテゴリー 5/5e/6)
- ネットワークサーバー(パソコンなど/ネットワークサーバー使用時)
- 光や ADSL などのインターネット回線(インターネットラジオ使用時)

サーバーについて

ネットワークサーバー内の音楽ファイルを再生する(p. 24)

本機は以下のネットワークサーバーに対応しています。

- Windows Media Player 11
- Windows Media Player 12
- Windows Media Connect 2.0
- DLNA 準拠サーバー

リモート再生する(p. 26)

本機は以下の機器に対応しています。

- Windows Media Player 12
- DLNA 1.5 準拠のネットワークサーバー、コントローラー機器
- 設定方法は使用するネットワークサーバーやコントローラー機器によって異なります。お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

DLNA 機器について

DLNA とは、Digital Living Network Alliance(デジタルリビングネットワークアライアンス)の略称で、ネットワーク(LAN)によってパソコンやゲーム機、デジタル家電を相互に接続し、音楽や画像、動画などのデータをやりとりするための標準化を進めている団体の名称です。本機は、DLNA ガイドライン V1.5 に準拠しています。

商標

- Microsoft、Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- DLNA®、DLNA ロゴおよび DLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Alliance の商標、サービスマーク、または認証マークです。
- Android は Google Inc.の登録商標です。
- DSD はソニー株式会社の登録商標です。

故障かな？と思ったら

問題の多くは、当社ホームページ

http://www2.jvckenwood.com/

や右記の QR コードから最新の製品 Q&A 情報をご覧いただくことで解決できます。
カスタマーサポートセンターにご相談になる前に下記をチェックしてください。

（QR コードは
（株）デンソーウェーブ
の登録商標です）

- PC サイトです。
- サイトの内容は予告なく変更になることがあります。

共通

症状	処置
電源が入らない	• コンセントを正しく差し込んでください。 • スピーカーコードがショート（芯線の＋と－が接触）していないか、ばらけて細い線が本体の金属部分などに接触していないか確認し、正しく接続してください。
マイコンが誤動作（操作できない、表示部の誤表示など）する	• 電源が入ったまま接続コードを抜き差ししたときや、外部からの要因によって、誤動作することがあります。 以下の手順でマイコンをリセットしてください。 リセットすると、設定内容などは、お買い上げ時の状態となります。 **マイコンリセット方法** ① 電源が入った状態で、本体の[■]を押しながら、本体の[⏻/I]（電源ボタン）を押す ② リセットが終了し、スタンバイモードになる
スピーカーから音が出ない	• スピーカーや機器を正しく接続してください。 • 音量を上げてください。 • 消音を解除してください。 • ヘッドホンをはずしてください。
スピーカーの片側から音が出ない	• スピーカーを正しく接続してください。 • 左右の音量バランスを確認してください。
デジタル入力端子（D-IN1、D-IN2）から音が出ない	• 機器を正しく接続してください。 • 接続機器のデジタル音声出力設定を「PCM」に設定しているか、確認してください。
リモコンで操作できない	• 新しい電池に入れ換えてください。 • 操作範囲内で操作してください。
「?」マークが表示される	• エラーや、コンテンツ情報が無い場合に「？」マークが表示されます。音源が「USB1(iPod)」、「USB2」または「NETWORK」のときはコンテンツ情報のある階層に移動してください。 （「？」マークの後にメッセージが表示される場合があります。）

iPod

症状	処置
iPod の音が出ない/充電できない	• iPod は本機前面の USB 端子に接続してください。本機背面の USB 端子は iPod の操作・再生に対応していません。 • iPod を正しく接続してください。 iPod とケーブルを本機から取りはずし、もう一度接続し直してください。
iPod を再生できない/認識できない	• iPod をはずした状態で、iPod をリセットし、本機の電源コードを抜き差ししてください。（iPod のリセット方法については、アップル社のウェブサイトをご覧ください）

USB 機器

症状	処置
USB フラッシュメモリーまたは USB オーディオプレーヤーを接続しても音が出ない	• USB フラッシュメモリーを正しく差し込んでください。 • USB ケーブルを正しく接続してください。 • USB オーディオプレーヤーの電源を入れてください。 • パソコンで、USB フラッシュメモリーを FAT32 形式でフォーマットしてください。（フォーマットすると、USB フラッシュメモリーに記録されているデータはすべて消去されますので、ご注意ください） • 他の USB フラッシュメモリーに交換してみてください。
ソニー製ウォークマンを再生できない/認識できない	• 本機の USB 端子は、ウォークマンの接続には対応していません。ウォークマンは LINE 入力端子にステレオミニプラグ－ピンプラグ接続コードなどで接続して、再生してください。

ネットワーク

症状	処置
ネットワークサーバーが使用できない	• ネットワークサーバーが起動しているか確認してください。 • ネットワークサーバーがネットワークに正しく接続されているか確認してください。 • ルーターの LAN 側ポートと本機が正しく接続されているか確認してください。 • ルーターなどのネットワーク機器の電源を一度切ってから、再度ネットワークに接続してください。
ネットワークサーバーで音楽ファイルを再生しているときに音が途切れる	• パソコンをネットワークサーバーにしている場合、サーバーソフトウェア（Windows Media Player 11 など）以外のアプリケーションソフトを終了させてみてください。 • パソコンで大きな容量のファイルをダウンロードしたりコピーしている場合は、再生音が途切れる場合があります。
インターネットラジオが聞けない	• 特定のラジオ局だけが聞けない場合は、登録した URL が正しいか、またラジオ局から配信されているフォーマットが本機の対応しているものか確認してください。 • 他の機器からインターネットに接続できるか確認してください。できない場合、ネットワークに接続されているすべての機器の電源を切り、しばらくしてから入れてみてください。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力		50 W + 50 W（JEITA* 4 Ω）
周波数特性（LINE 入力）		10 Hz ～ 100 kHz（ +1 dB、–3 dB）
全高調波ひずみ率		0.007%（1 kHz、1 W、4 Ω、LPF 20 kHz）
トーンコントロール特性	BASS	±8 dB（at 100 Hz）
	TREBLE	±8 dB（at 10 kHz）
EX.BASS（オン）		+4 dB（55 Hz）
入力端子（感度／インピーダンス）	LINE 入力	900 mV / 47 kΩ
出力端子（レベル／インピーダンス）	サブウーファープリアウト	2 V / 370 Ω
	LINE 出力	900 mV / 330 Ω
スピーカーインピーダンス		4 Ω – 16 Ω

デジタル部

対応サンプリング周波数		32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz、192 kHz
入力端子（感度／波長／インピーダンス）	光（オプチカル）	–15 dBm ～ –24 dBm、660 nm ±30 nm
	同軸（コアキシャル）	0.5 Vp-p / 75 Ω

USB 部

対応 USB 機器		USB マスストレージクラスデバイス
インターフェイス		USB2.0（Full speed）USB1.1 互換
対応ファイルシステム		FAT 16 / FAT 32
出力	USB1（前面）	DC 5 V ⎓ 1 A
	USB2（背面）	DC 5 V ⎓ 500 mA

ネットワーク部

DLNA version 1.5
イーサネット端子

電源部・その他

電源	AC 100 V、50 Hz / 60 Hz
消費電力	50 W（動作時） 0.5 W 以下（スタンバイ状態）
最大外形寸法（幅 × 高さ × 奥行）	247 mm × 115 mm × 288 mm
質量	3.0 kg

本機は「JIS C61000-3-2 適合品」です。
*は JEITA（電子情報技術産業協会）の測定法に基づく数値です。
本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

＜メモ＞

＜メモ＞

保証とアフターサービス

1.保証について

- 保証期間－お買い上げの日より 1 年間です。
  電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは「無料修理規定」をご覧ください。

2.修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

3.補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8 年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4.修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

5.アフターサービスについて

- 保証期間中は、「無料修理規定」に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
- 修理料金の仕組み（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

① 技術料　：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
② 部品代　：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
③ 出張料　：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
④ 送料　　：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

- 修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかヘッドホンなど付属品も一緒にお持ちください。

6.保証書は、日本国内においてのみ有効です。

- This warranty is valid only in Japan.

無料修理規定

1．保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービス窓口にて無料修理をさせていただきます。

2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。

3．ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

4．ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

5．次の場合には保証期間内でも有料になります。

① 保証書のご提示のない場合。

② 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。

③ 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。

④ 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。

⑤ お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。

⑥ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。

⑦ 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷（例えば、業務用の長時間使用、車両＜車載用製品を除く＞、船舶への搭載等）

⑧ 製造番号の改変及び、取り外した製品。

⑨ 消耗部品(例えばプレーヤーの針、回転機器のベルト、テープレコーダーのヘッド、乾電池、充電池、イヤーチップ等) の交換。

⑩ 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。

6. 保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

- 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店またはカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

■ 商品や修理（アフターサービス）に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950　　FAX 045-450-2308
受付時間　月曜～金曜　9:30 ～ 18:00
　　土曜　　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

保証書

持込修理用
（日本国内専用）

品名	ネットワークアンプ	型名	A-K905NT
保証対象	本体	保証期間	（お買い上げ日より） 1 年間
※お買い上げ日	年	月	日
※お客様	お名前		様
	ご住所		
	電話番号 （ ）		
※販売店	店名		
	住所		
	電話番号 （ ）		

公開用

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

KENWOOD

株式会社 JVCケンウッド
〒221-0022　横浜市神奈川区守屋町3-12